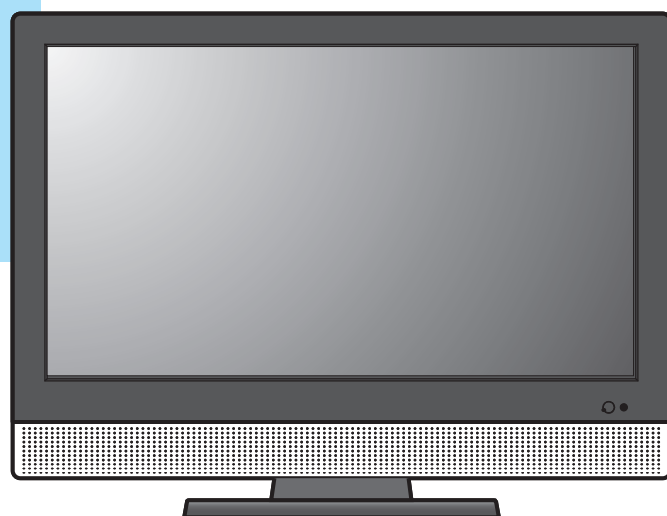
Visole

取扱説明書

地上デジタルハイビジョン

19型 液晶テレビ

品番 LCU1850B

このたびはVisole液晶テレビをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

もくじ

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全にお使いください。
「取扱説明書」をお読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

絶対に行わない	絶対に触れない	絶対にぬれた手で触れない
絶対に分解や修理はしない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	絶対に水にぬらさない
必ず電源プラグをコンセントから抜く	必ず指示に従う	高圧注意（テレビ背面に表示）

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3 内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
4 ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

安全上のご注意

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご相談ください。

高圧注意

分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘヤピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

水場での使用禁止

絶対に水にぬらさない

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
電源プラグを交流 100 ボルト（AC100V）の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

禁止

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

禁止

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

指示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）

プラグをコンセントから抜け

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

指示

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ＋－の指示通りに入れる。
  使い切った電池はすぐに取り出す。種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- しばらく使わないときは取り出しておく。
  電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。液漏れが有った場合は、その液に触れない。

指示　禁止

使用上のご注意とお願い

◆ 輝点・欠点について
液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

◆ お手入れについて
お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - -ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - -殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - -パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
  - -パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - -パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

◆ 輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

◆ 本機を破棄するとき
一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
本機の内部で使用している蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

◆ 本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

◆ 室内温度について
液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

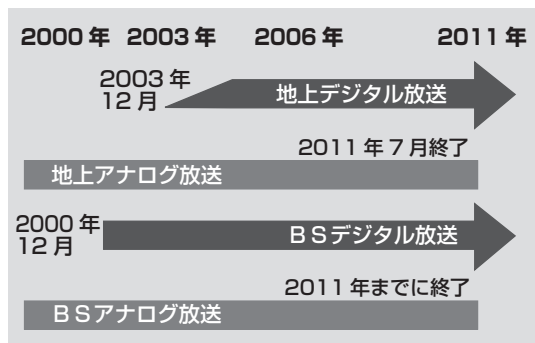
◆ バックライトについて
液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。本機のバックライト寿命は約40000時間です。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。

◆ デジタル放送のコピー制御について
本機には付属のB-CASカードを必ず挿入してください。
デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用します。
挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
B-CASカードを挿入していただくことで、NHKも、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）
詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

主な特長

◆ 地上デジタルチューナー内蔵

地上デジタル放送は、UHF 帯の地上波を利用した放送です。アナログ放送では得られない高画質、高音質、多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。
また、電子番組表を使って見たい番組を簡単に選ぶことができます。

アナログ放送からデジタル放送への移行について
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

◆ オンスクリーン表示

画面を見ながら映像調整、音声調整などを設定できます。

◆ 映像／音声調整

お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「コントラスト」、「明るさ」、「色合い」、「色の濃さ」、「シャープネス」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」、「高音」、「バランス」をお好みの音声に調整することができます。

◆ スリープタイマー

おやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的に電源を消すことができます。(30・60・90・120 分)
リモコンの スリープ ボタンで操作できます。

◆ HDMI 端子

HDMI 対応の DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。

◆ D端子

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続して高品位な映像を楽しむことができます。

◆ D-SUB 端子

15 ピン D-SUB 端子を使ってパソコンと接続することで、本機をパソコンのモニターとして使用できます。(接続コードは付属していません。)

◆ 無信号 OFF

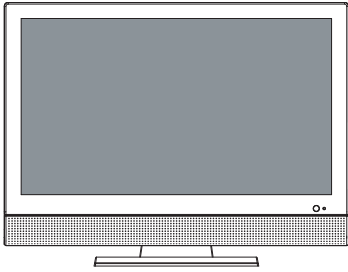
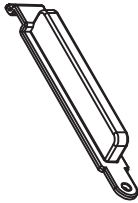
テレビ放送が終了した時や外部信号が入力されない場合に約 15 分で電源が切れる親切設計です。(地上アナログのみ)

◆ 画面サイズの切換

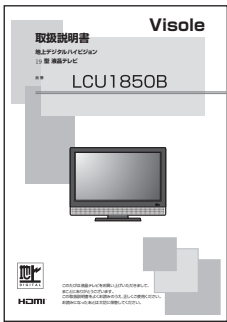
映像に合わせて画面のアスペクト比率を 16：9 と 4：3 に切り換えることができます。

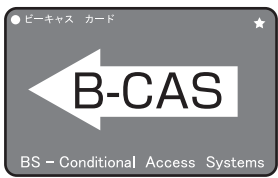
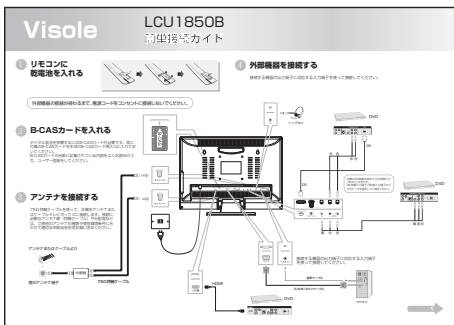
付属品を確認する

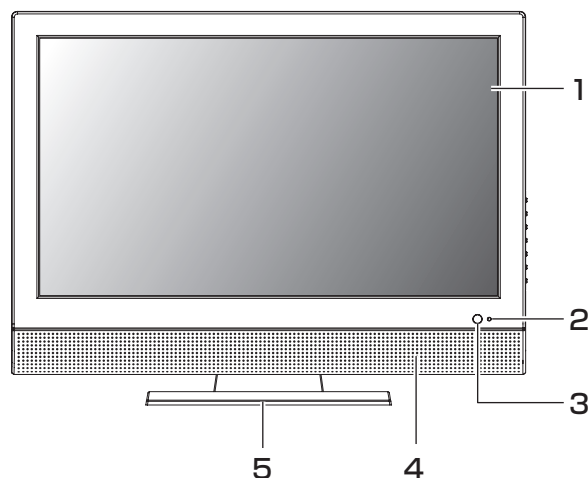
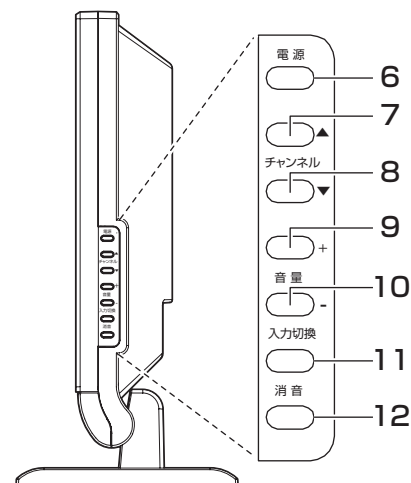
ご購入のパッケージ内には、以下のものが含まれています。すべて入っているかご確認ください。

本体

B-CASカバー× 1

リモコン × 1

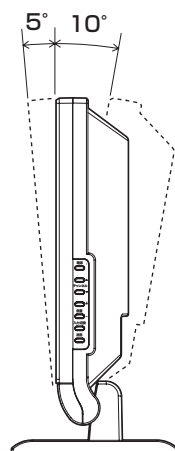
単４形乾電池 × 2

取扱説明書　× 1

保証書　× 1

B-CAS カード　× 1

簡単接続ガイド　× 1

各部の名称（本体）

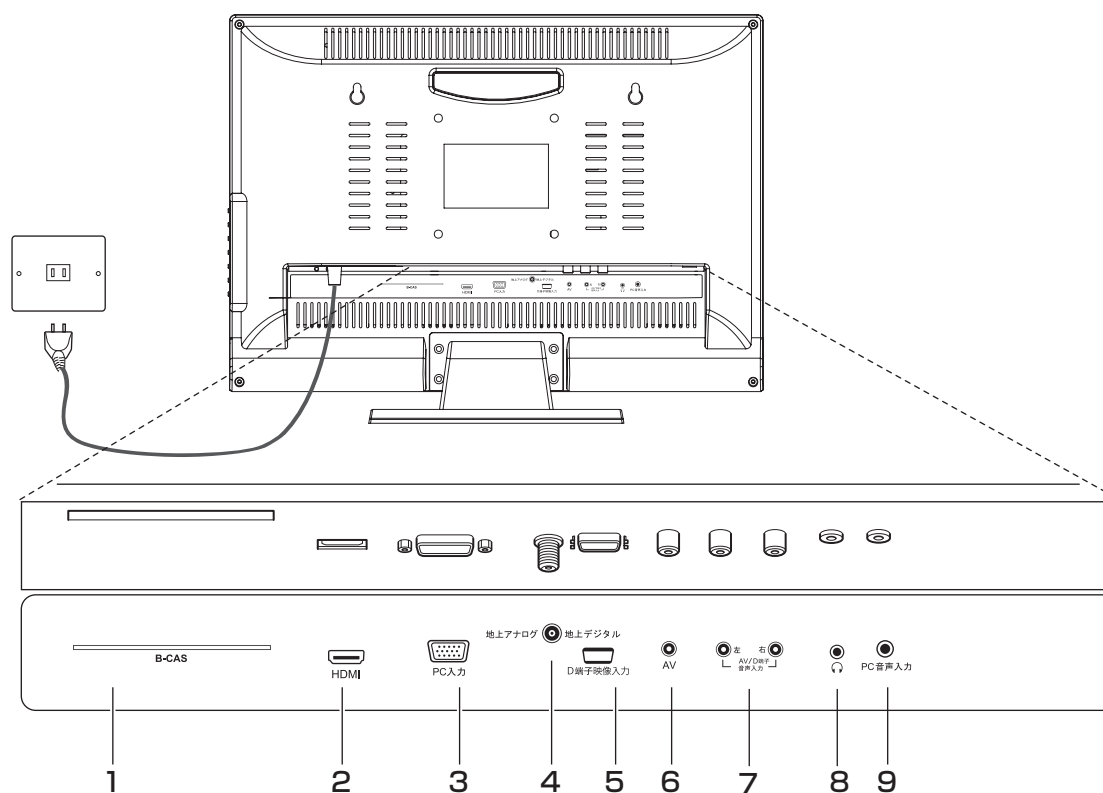
本体前面と操作部

1　液晶画面
2　電源ランプ
3　リモコン受光部
4　スピーカー
5　スタンド

6　電源ボタン
7　チャンネル ▲ ボタン
8　チャンネル ▼ ボタン
9　音量＋ボタン
10 音量－ボタン
11 入力切替ボタン
12 消音ボタン

◆ 画面の角度を調整する

本機の液晶画面は、角度を垂直方向に前方に 5°、後方に 10°調整することができます。本体上部とスタンドをしっかり押さえながら、ゆっくりとお好みの角度に調整してください。

ご注意

- 調整できる範囲を超えて使用しないでください。範囲を超えての使用は、画面・スタンド・ヒンジに支障をきたす場合があります。
- ぐらついた台の上や、傾いた所など、不安定な場所には置かないでください。
  落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。
- 持ち運ぶときは背面上部の持ち手部分とスピーカーの下部の 2 か所をしっかりと持ってください。
  誤った方法で持ち運ぶと、テレビを落としてけがをする原因となることがあります。

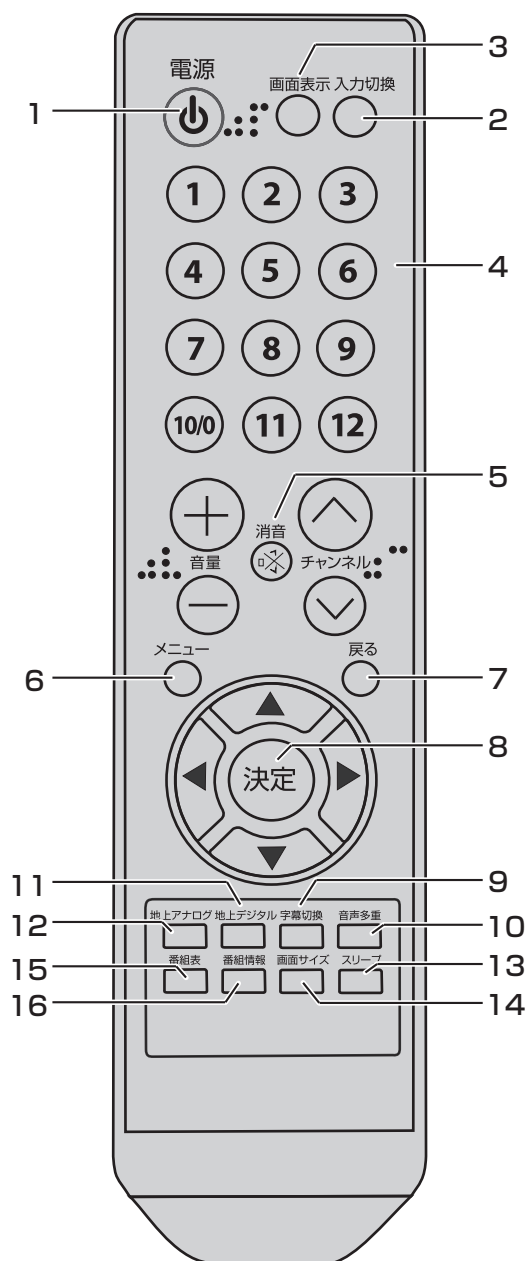
各部の名称（本体）

本体背面と端子部

1　B-CAS カード挿入口
2　HDMI 入力端子
3　PC 入力端子
4　地上アナログ/地上デジタル入力端子
5　D端 子 映像入力端子
6　AV 入力端子
7　AV 音声／ D端 子 音声入力端子
8　ヘッドホン端子
9　PC 音声入力端子

お知らせ

- 映像（RCA）と D端 子 の音声入力は 1 系統ですので、どちらか一方を選択してご使用ください。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

各部の名称（リモコン）

1　**電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。

2　**入力切換ボタン**
入力ソースを切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わり自動的にその画面が表示されます。

3　**画面表示ボタン**
現在受信しているチャンネル番組の情報が表示されます。

4　**数字ボタン**
視聴するチャンネルを選択します。

5　**消音ボタン**
音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

6　**メニューボタン**
メニュー画面を表示します。

7　**戻るボタン**
メニュー画面を表示しているとき、1 つ前の画面に戻ります。

8　**決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。

▲ ▼ ◀▶ボタン
メニュー画面を表示しているときはカーソルを移動します。

9　**字幕切換ボタン**
字幕を切り換えます。

10 **音声多重ボタン**
2 カ国語 / ステレオなど音声を切り換えます。

11 **地上デジタルボタン**
地上デジタル放送に切り換えます。

12 **地上アナログボタン**
地上アナログ放送に切り換えます。

13 **スリープボタン**
スリープタイマーを設定します。

14 **画面サイズボタン**
お好みの画面サイズを選択します。

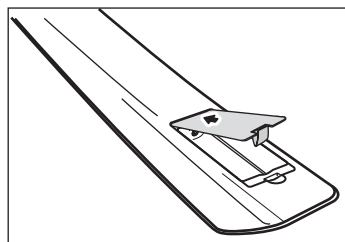
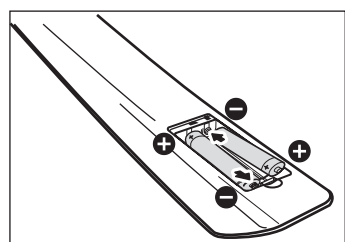
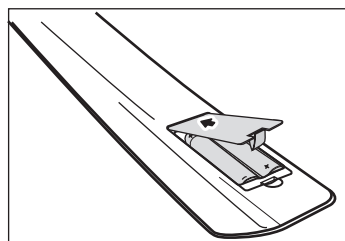
15 **番組表ボタン**
番組表をテレビ画面に表示します。（地上デジタル放送のみ）

16 **番組情報ボタン**
番組についての情報や説明を表示します。（地上デジタル放送のみ）

お知らせ

- 電源ボタン、入力切換ボタン、音量＋ / －ボタン、消音ボタン、チャンネル ▲ ▼ ボタンは本体右側面の操作パネルでも操作できます。
  この取扱説明書では、主にリモコンを使った操作方法で説明しています。

リモコンの準備と使い方

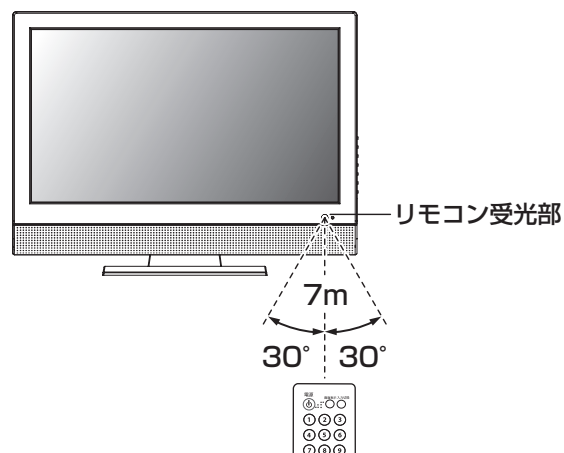
1 リモコン裏側の電池ケースカバーを上方向へ引き、カバーをはずす

2 乾電池の+、−極の方向に注意して電池ボックスに乾電池を入れる

3 電池ケースカバーを元に戻す

ご注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から化学液が漏れることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れ方が正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずし、正しく保管してください。

◆ リモコンで操作できる範囲

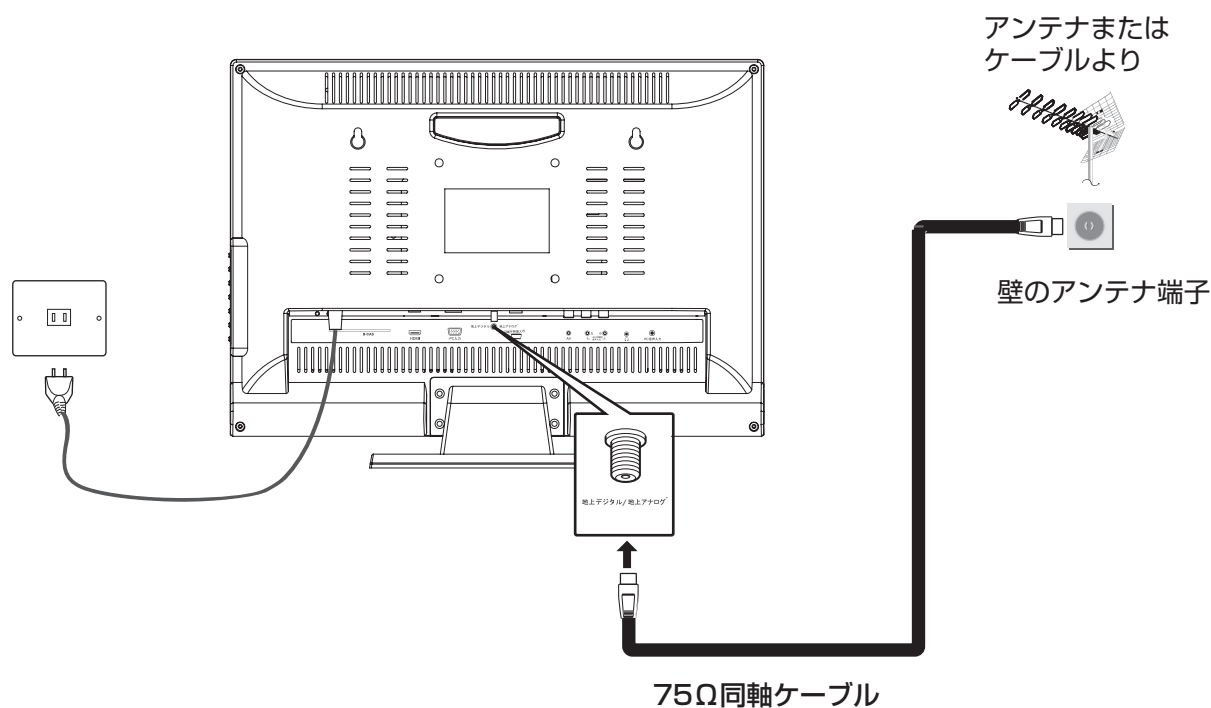
本体前面のリモコン受光部の正面から約 7 メートル、左右 30°の範囲でお使いください。

お願い

- 本体とリモコン受光部の間に物を置かないでください。

アンテナを接続する

ご注意

- アンテナを接続するときは、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。

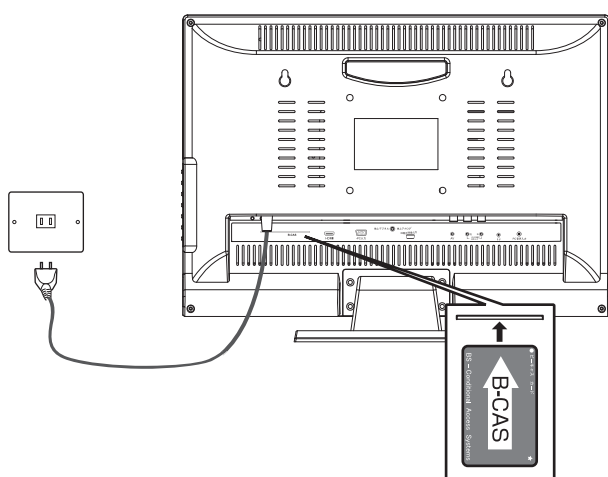
地上デジタル放送は UHF 帯が利用されています。UHF 対応のアンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信ができません。
現在お使いのアンテナが UHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。
アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属しておりません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

お知らせ

- 本機はデジタルチューナーとアナログチューナーの併用型となっております。
- ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

B-CAS カードを入れる／電源を入れる

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

B-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するには、B-CAS カードが必要です。常に付属の B-CAS カードを本体の B-CAS 挿入口に入れておいてください。

ご注意

- B-CAS カードの抜き差しは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

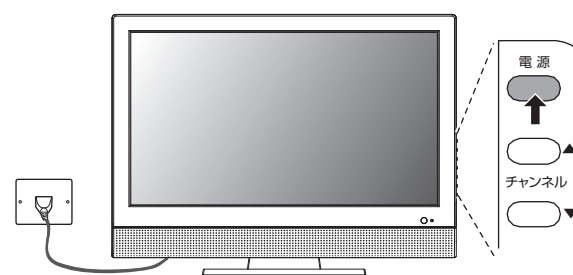
◆ B-CAS カードについて

B-CAS カードについてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL　0570-000-250

電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 本体右側面の電源ボタンを押す

電源がはいり、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。このときは電源が入った状態です。もう一度本体の電源ボタンを押すと、電源が切れます。

3 リモコンで電源を入／待機にする

- 電源がはいった状態でリモコンの電源ボタンを押すと待機状態となり、本体前面の電源ランプが赤色に点灯します。
- 待機状態のときにリモコンの電源ボタンを押すと電源がはいり、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。

電源を切る

本体右側面の電源ボタンを押す。

本体前面の電源ランプが消えます。

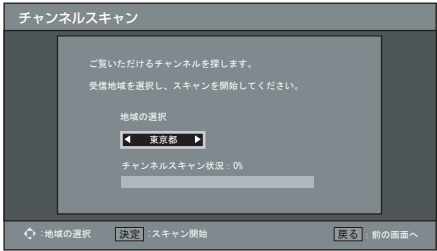
チャンネル設定をする

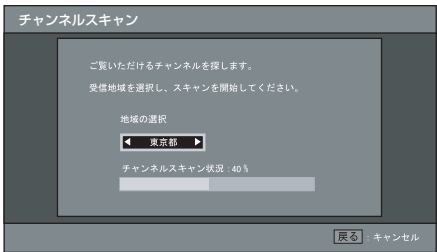
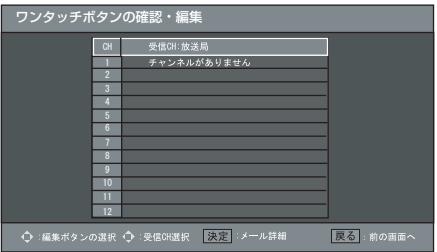
地上デジタル放送のチャンネル設定

お買い上げ後、B-CAS カードを入れてはじめて電源を入れると、自動的にデジタル放送のチャンネル設定の画面が表示されます。お住まいの地域に適したチャンネル設定をしてください。

お知らせ

- 「チャンネルが設定されていません」と表示された場合は、メニュー ボタンを押してメニュー画面を表示し、「地上デジタル」→「地上デジタルメニュー」→「基本設定」→「チャンネル設定」を選択してください。

1 ◀ ▶でお住まいの地域を選んで、決定 を押す

2 ◀ ▶でお住まいの都道府県（東京都は地域名）を選んで、決定 を押す

「チャンネルスキャン」画面が表示されます。

3 スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定結果が表示されます。

4 ▼を押して、チャンネルの設定結果を確認する

5 メニュー を押してメニュー画面を消す

これで地上デジタル放送のチャンネル設定は終了です。

お知らせ

- 2011 年 7 月のアナログ放送停波後に地域によっては地上デジタルのチャンネルの設定番号が変更になる場合があります。その地域にお住まいの方はチャンネル再スキャンをしてください。

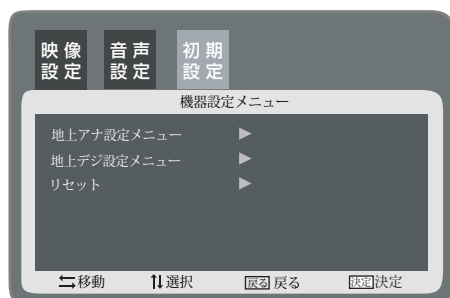
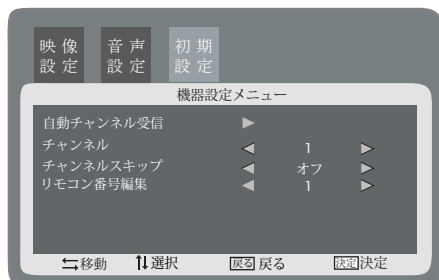
チャンネル設定をする

地上アナログ放送のチャンネル設定

地上アナログ放送をご覧になるときは、お住まいの地域に適したチャンネル設定をしてください。

1 地上アナログ ▭ を押して、地上アナログ放送の入力モードにする

2 メニュー ◯ を押す

3 ◀ ▶で「初期設定」を選んで、決定 を押す

4 ▼ ▲で「地上アナ設定メニュー」を選んで、決定 を押す

5 ▼ ▲で「自動チャンネル受信」を選んで、決定 を押す

自動受信の状態になります。自動受信を停止しようと、「戻る」ボタンを押してください。

お知らせ

- 自動チャンネル受信で設定した結果、映りが悪いチャンネルがある場合は手動で微調整を行ってください。（31 ページ参照）
- 「受信チャンネルスキップ」を使うと、チャンネル ∧ ∨ ボタンで選局するときに放送のないチャンネル（空きチャンネル）をスキップするように設定できます。（31 ページ参照）

テレビを見る

1 **リモコンまたは本体右側面の電源ボタンを押す**

前面の電源ランプが緑色に点灯します。

しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。

2 **地上デジタル または 地上アナログ で地上デジタル放送か地上アナログ放送を選ぶ**

3 **数字ボタン（①〜⑫）またはでチャンネル ⌃ ⌄ ボタンでチャンネルを選ぶ**

チャンネル ⌃ ⌄ ボタンでは、押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。

本体右側面のチャンネル ▲ ▼ ボタンでもチャンネルを選ぶことができます。

4 **音量＋／ーで音量を調節する**

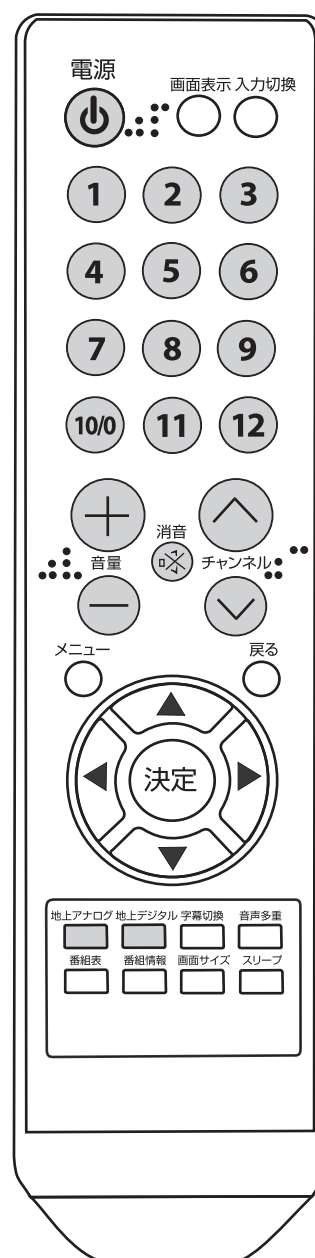
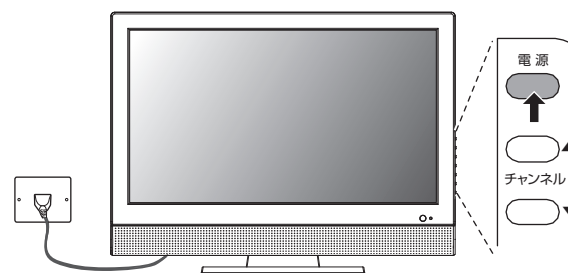
◆ 音だけを消したいとき

1 **消音 を押す**

画面右下に「消音」と表示されます。

消音

2 **元に戻すには、もう一度 消音 を押す**

音量＋／ーを押しても音が出ます。

番組表を見る（地上デジタル放送のみ）

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大 5 日先までの放送予定を確認できます。

1 **デジタル放送視聴中に 番組表 を押す**

地上デジタルチャンネルリストが表示されます。

視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。

2 **番組表を消すには、戻る または 番組表 を押す**

お知らせ

- 番組情報が取得できていないときは内容が表示されません。その場合には、決定 を押して番組情報を取得してください。（表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できないことがあります。）

デジタル放送の便利な機能を使う

チャンネルリストでチャンネルを選ぶ

1 **デジタル放送視聴中に 番組表 を押す**

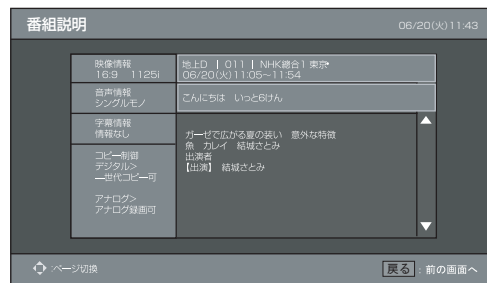
地上デジタルチャンネルリストが表示されます。

2 **▲▼ でチャンネルを選び、決定 を押す**

選択したチャンネルの画面が表示されます。

番組情報を見る

1 **デジタル放送視聴中に 番組情報 を押す**

番組名、チャンネル番号、放送局名、放送時間、番組情報などが表示されます。

番組情報に続きがあるときは、▼ を押すと表示されます。

2 **番組情報を消すには、戻る または 番組情報 を押す**

字幕を表示する

字幕のある番組のときに、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

デジタル放送視聴中に 字幕切換 を押す

字幕切換 を押すたびに字幕の表示・非表示が切り換わります。

字幕切 / 字幕入：日本語 / 字幕入：英語

お知らせ

- 字幕の表示・非表示は、地上デジタルメニューの「 機器設定」からも設定できます。(32 ページ参照)

文字スーパーを表示する

文字スーパーは、見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。
文字スーパーの表示は、地上デジタルメニューの「機器設定」から設定することができます。32 ページをご覧ください。

チャンネル情報を見る／音声を切り換える

チャンネル情報を見る

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

1 画面表示 ○ を押す

2 表示を消すには、もう一度 画面表示 ○ を押す

◆ 地上デジタル放送の場合

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。

しばらくすると、画面下部の表示は消えて上部の表示だけになります。

◆ アナログ放送の場合

チャンネル番号と音声モードが表示されます。

地アナ　52
ステレオ

音声を切り換える

1 音声多重 ▭ を押す
押すたびに別の音声に切り換わります。

◆ 地上デジタル放送の場合

お知らせ

- 受信している放送によって音声表示は異なります。
- 切り換える音声がない場合には「切換える音声がありません」と表示されます。

◆ 地上アナログ放送の場合

音声多重放送を受信しているときは、次のように音声が切り換わります。

「主音声」→「副音声」→「主＋副」

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

画面サイズを変える

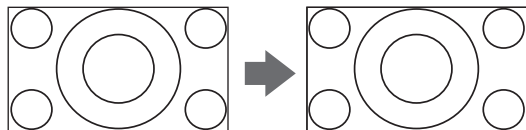
視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

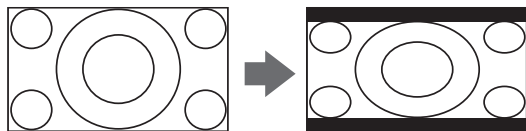
1 画面サイズ を押す

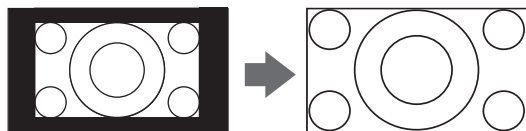
◆ デジタルハイビジョン信号の 16：9 映像のとき

画面サイズ を押すたびに、ノーマル → 4：3 レターボックス → 4：3 パンスキャン の順番で切り換わります。

ノーマル

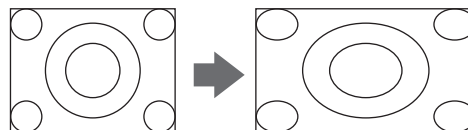
16：9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

4：3 レターボックス

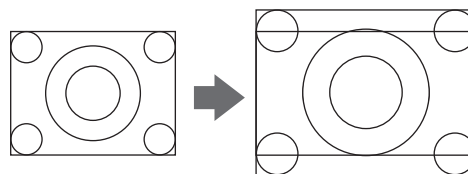
上下に黒い帯が表示されます。

4：3 パンスキャン

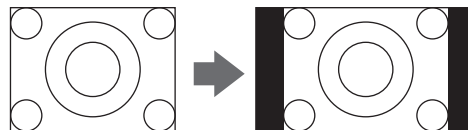
上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。

◆ アナログ標準テレビ信号の 4：3 映像のとき

画面サイズ を押すたびに、フル → シネマ → 4：3 の順番で切り換わります。

フル

4：3 の映像をワイド画面いっぱいに拡大して表示します。（映像が横伸びします）

シネマ

4：3 の映像をアスペクト比を保ったまま拡大して表示します。（上下の映像が画面の外に隠れます）

4：3

4：3 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。（画面の左右に黒い帯が表示されます）

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを設定しておくと、設定した時間が経つと自動的に本機の電源が切れます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

1 [スリープ] を押す

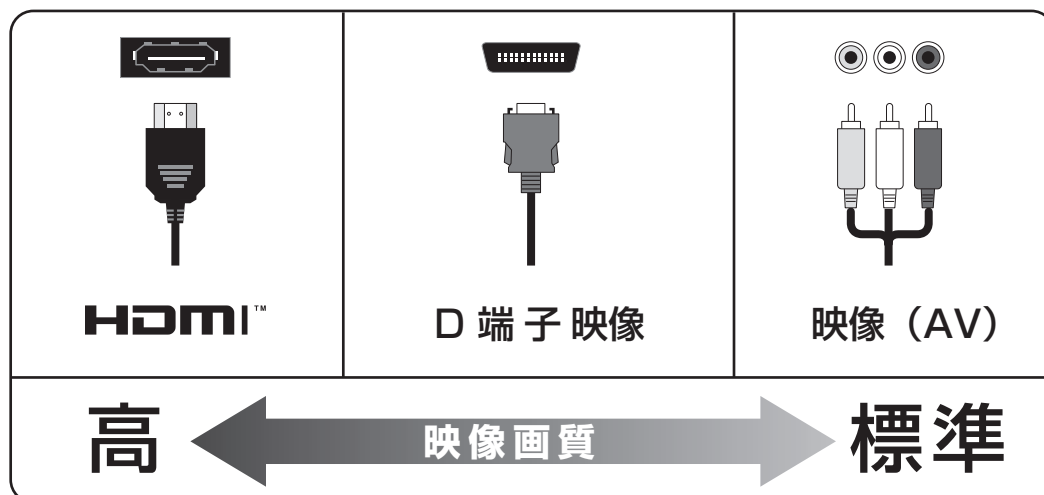
押すたびに、次のように設定時間が変わります。
OFF → 30 分 → 60 分 → 90 分 → 120 分
表示が消えるとスリープタイマーが設定され、設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。
電源が切れるまでの残り時間が 1分以下になると、残り時間が表示されます。

電源オフの注意

電源オフまで　あと
7 S

任意のキーを押すと電源オフをキャンセル

再生機器を接続する

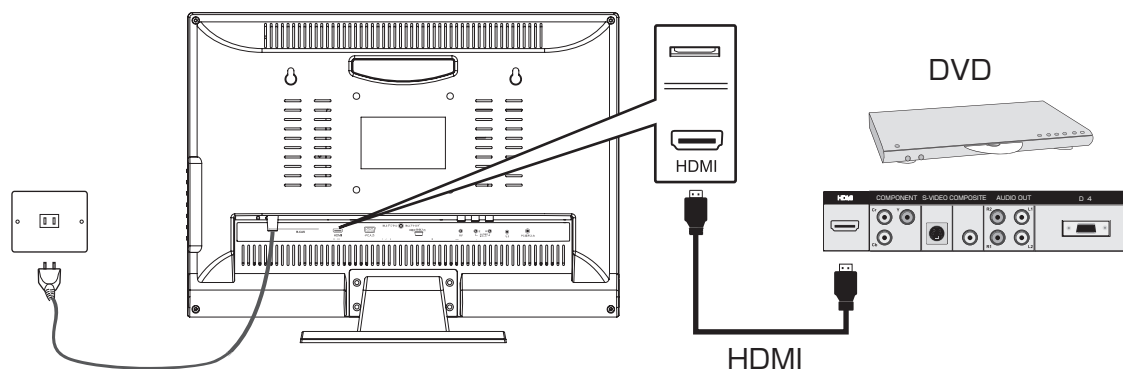
DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。
高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

◆ 外部機器を接続する際のご注意

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

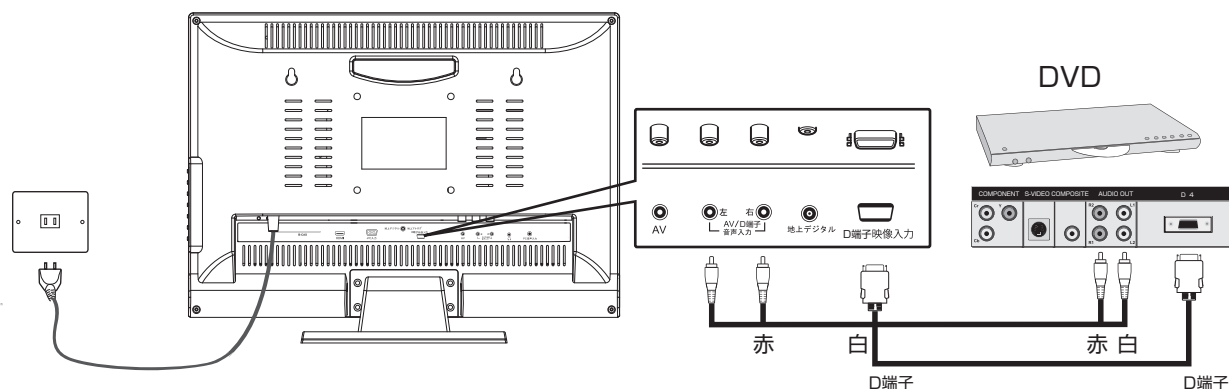
HDMI 端子を使う場合

HDMI 端子のある DVD プレーヤーやブルーレイ DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することができます。
HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

お知らせ

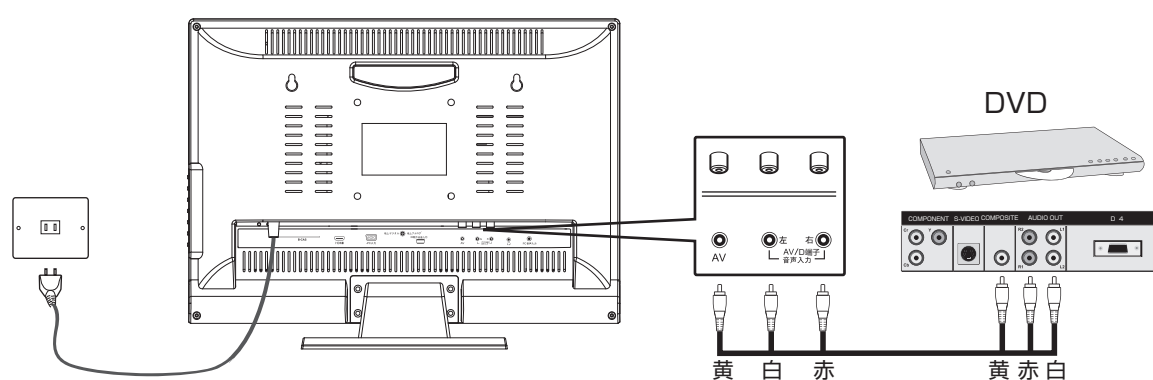
- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。

再生機器を接続する

D端 子 映像入力端子を使う場合

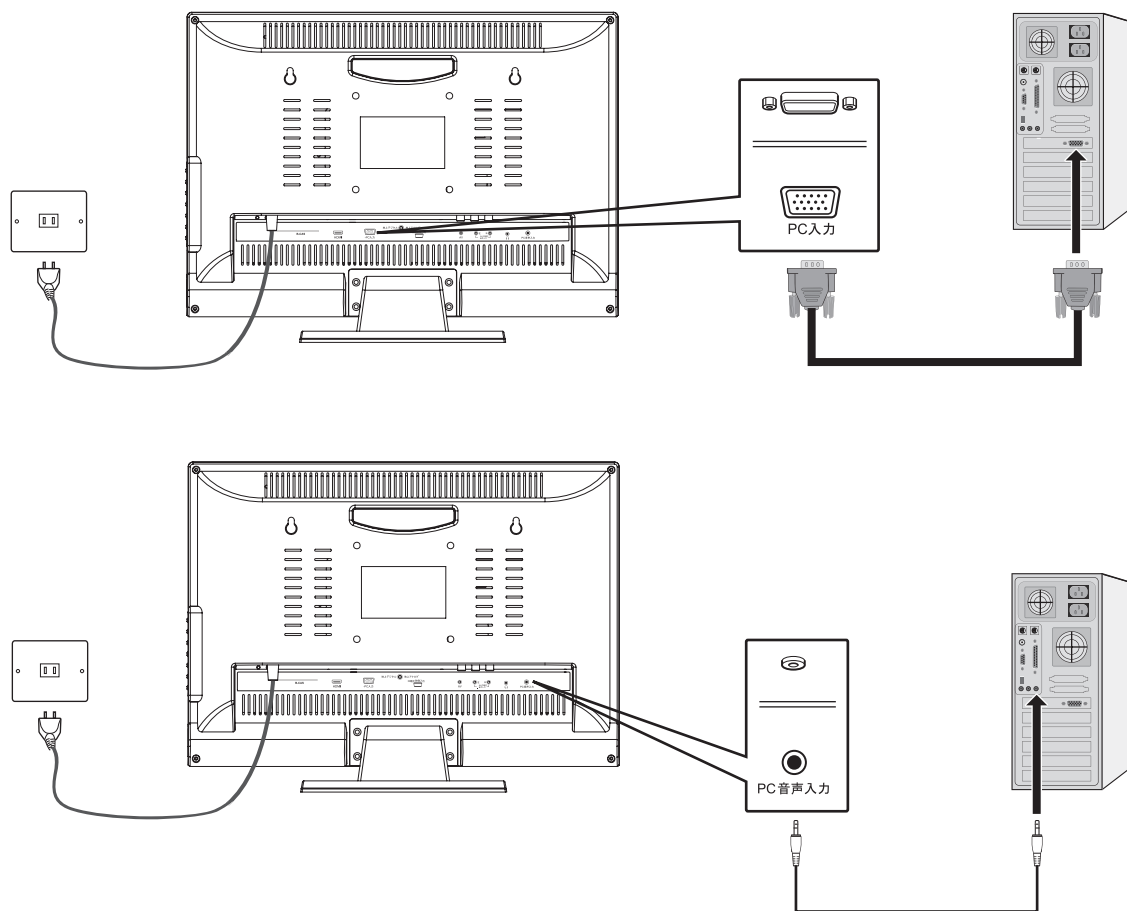
D 端 子 映像入力端子で接続すると、通常の映像入力端子による接続よりも高品質の映像をお楽しみいただけます。お持ちの DVD プレーヤーやゲーム機などに D 端子がある場合は、この方法で接続してください。

お知らせ

- 本機の D端 子 映像の音声入力は映像入力（RCA）と共用ですので、D 端 子 映像入力端子と映像入力端子を同時に使うことはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。

映像端子を使う場合

お知らせ

- 本機の D 端 子 映像の音声入力は映像入力（RCA）と共用ですので、D 端 子 映像入力端子と映像入力端子を同時に使うことはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。

パソコンを接続する

本機にパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。

ご注意

- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- ドットバイドットでの表示はできません。スケラーチップの仕様により、ワイド画面の場合、左右に伸張された映像になります。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの画面設定（解像度、周波数）を本機で表示できる設定に変更してください。
- パソコン接続時の表示設定は、自動調整で最良に近い状態に設定されます。自動調整だけで最適な画像にならない場合は、映像設定の PC 設定メニューで調整してください。（36 ページ参照）

接続した機器の映像を見る（入力切換）

背面の外部入力端子に接続した DVD プレイヤーやビデオデッキなどの使用時に入力切換を行います。

1 入力切換 を押す

2 入力切換 を繰り返し押すか、▲▼ で入力を選ぶ

地上デジタル
地上アナログ
ビデオ
D端子入力
HDMI
PC入力

地上アナログ

ビデオ

D端子入力

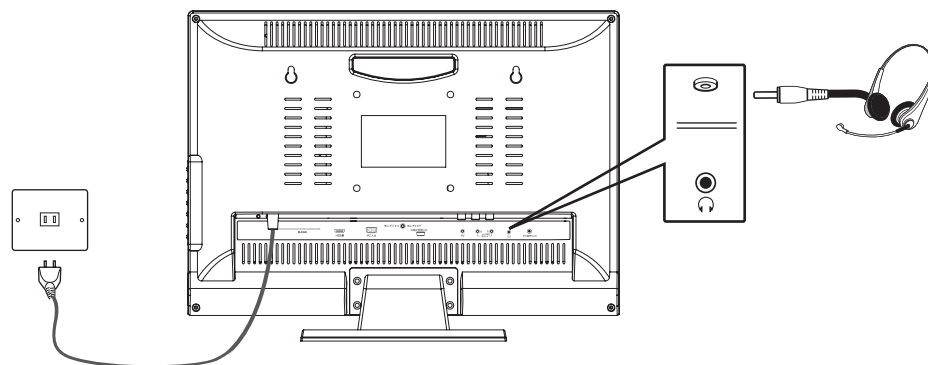
HDMI

PC入力

お知らせ

- 本体右側面の入力切換ボタンでも入力切換ができます。
- 音量の調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。

ヘッドホンを接続する

市販のヘッドホンを背面のヘッドホン端子に接続すると、ヘッドホンで聞くことができます。ヘッドホンを接続すると、本体のスピーカーからは音声が出なくなります。

ご注意

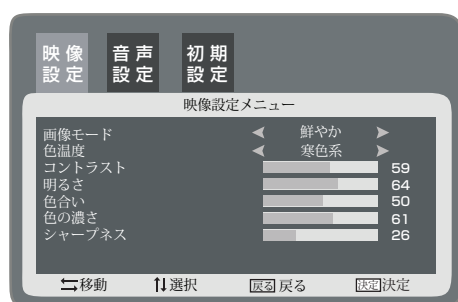
- ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大音量で長時間聞き続けると聴力に悪い影響を与えることがあります。適切な音量でご使用ください。

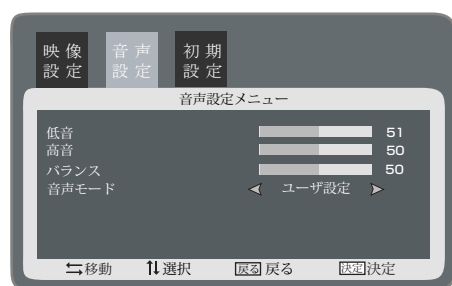
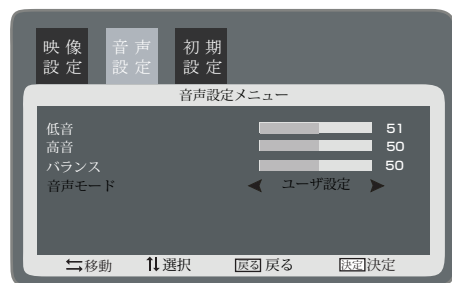
メニュー画面の操作方法

本機の各種設定を変更することができます。設定できる項目の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

例：音声モードの設定をする場合

1 メニュー ◯ **ボタンを押す**

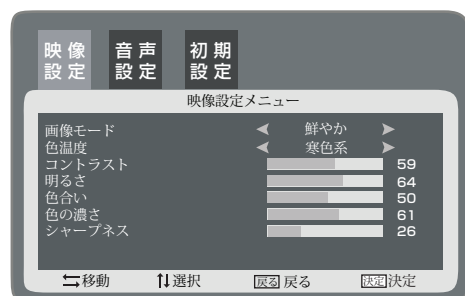
メニュー画面が表示されます。

2 ◀▶ **で「音声設定」を選ぶ**

音声設定メニューが表示されます。

3 ▲▼ **で「音声モード」を選ぶ**

4 ◀▶ **でお好みの設定を選ぶ**

5 メニュー ◯ **を押す。**

メニュー画面が消え、通常の画面に戻ります。

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻る ◯ を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。

映像設定メニュー

現在選択されている入力モード（地上デジタル、地上アナログ、ビデオ、D端子、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

お知らせ

- 入力モードが「PC」の場合は、「PC 設定メニュー」が表示されます。（36 ページ参照）

◆ 画像モード

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **鮮やか**
  コントラストが高く、くっきりとした映像が楽しめます。
- **標準**
  くせのない、標準的な色合いになります。
- **映画**
  落ち着いた色合いで、映画などのフィルム映像に適しています。
- **ユーザ設定**
  お好みで「色温度」「コントラスト」「明るさ」「色合い」「色の濃さ」「シャープネス」の設定を調整します。

◆ 色温度

3 種類の色温度（色合い）設定が用意されています。お好みや視聴する映像に合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **寒色系**
  青味を強調した色合いになります。
- **標準**
  標準的な色合いになります。
- **暖色系**
  赤味を強調した色合いになります。

◆ コントラスト

設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。

◆ 明るさ

設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。

◆ 色合い

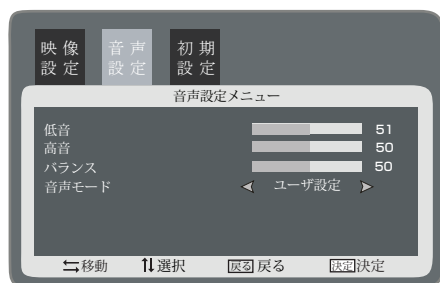
設定値が低いと赤っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。

◆ 色の濃さ

設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。

◆ シャープネス

設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。

音声設定メニュー

現在選択されている入力モード（地上デジタル、地上アナログ、ビデオ、D端子、HDMI、PC）の音声を、お好みの音質に調整できます。

◆ 低音

設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。

◆ 高音

設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。

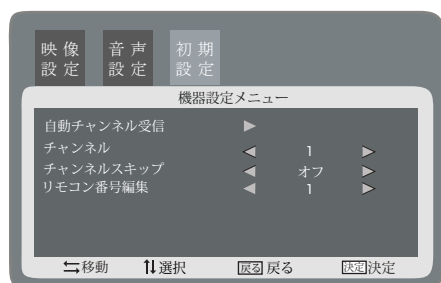
◆ バランス

左右の音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。

◆ 音声モード

シーンに合わせた音声設定があらかじめ用意されています。お好みで設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **標準**
  音声を聞き取りやすくなります。
- **映画**
  映画館のような迫力ある重低音が楽しめます。
- **音楽**
  大ホールにいるような広がりのある音質になります。
- **ユーザ設定**
  お好みで「音量」「低音」「高音」「バランス」の設定を調整します。

地上アナログ設定メニュー

地上アナログ放送に関する設定を変更します。

お知らせ

- 初めて地上アナログ放送をご覧になるときは、「地上アナログ放送のチャンネル設定」に従って、チャンネル設定を行ってください。（16 ページ参照）

◆ 自動チャンネル受信

「自動チャンネル受信」の選びを選びます。
それに、「決定」ボタンまたは ▶ を押して、
自動受信の状態になります。自動受信を
停止しようと、「戻る」ボタンを押してく
ださい。詳しくは16ページをご覧ください。

◆ 微調整

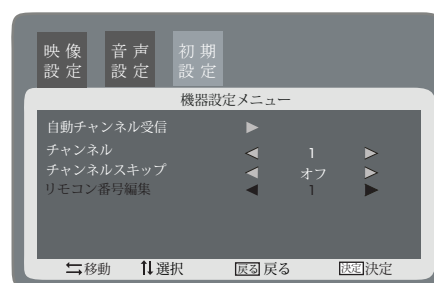
「自動チャンネル受信」で設定した結果、映りが悪いチャンネルがある場合に、ここで微調整できます。「受信チャンネル」で微調整したいチャンネルを選び、◀ ▶ボタンで映りがよくなるよう調整します。

◆ チャンネル

設定を変更したいチャンネルを選びます。

◆ チャンネルスキップ

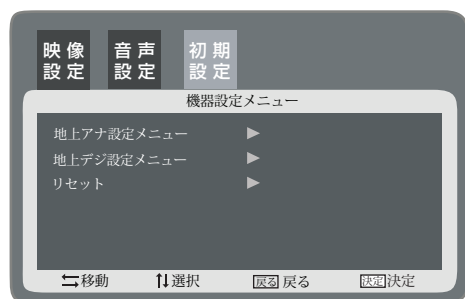
チャンネル上下ボタンで選局するときに、放送のないチャンネルや、視聴したくないチャンネルをスキップできます。「受信チャンネル」でスキップしたいチャンネルを選び、「受信チャンネルスキップ」を「オン」に変更します。

◆ リモコンチャンネル編集

▼▲を押して、リモコンチャンネル編集を選択し、(決定)を押します。リモコンチャンネル画面が表示

◀ ▶でTVチャンネル番号を設定します。必要に応じて12のリモコンチャンネルを設定することができます。

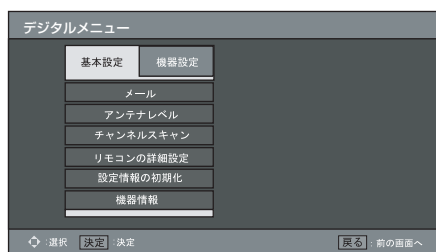
上図はリモコンの2チャンネルにTV 13 CHを設定した場合。

最後に 「メニュー」 を押して設定を終了します。

地上デジタル設定メニュー

地上デジタル放送に関する設定を変更します。

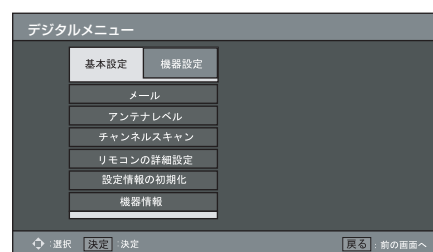
◆ 地上デジタルメニュー

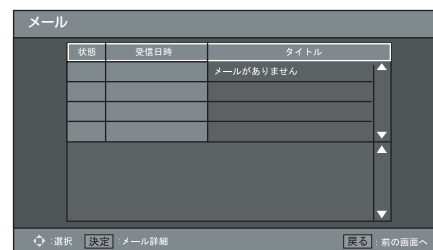
地上デジタル放送の詳細設定のメニューが表示されます。詳しくは「地上デジタルメニュー」の項をご覧ください。

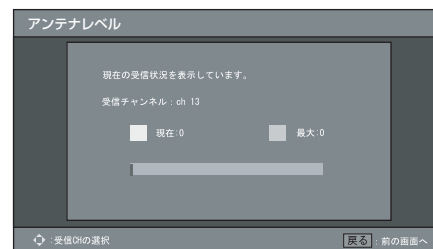
地上デジタルメニュー

「基本設定」「機器設定」の2項目が表示されます。設定したい項目を選んで (決定) を押すと、さらに設定項目が表示されます。

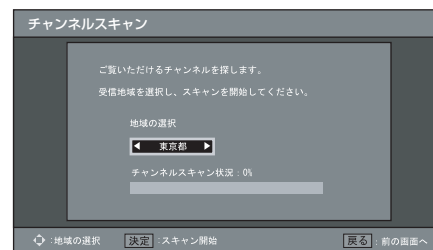
お知らせ

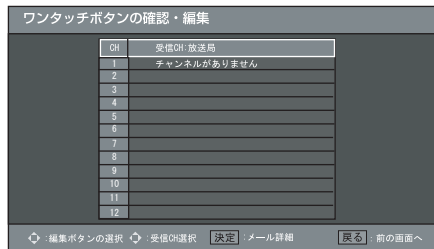
- 「基本設定」「機器設定」で設定する場合は、必ず (決定) を押して設定変更を確定してください。(決定) を押す前に (戻る) や (メニュー) を押すと、変更した内容は有効になりません。

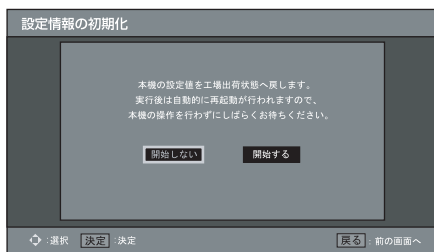
◆ 基本設定

・メール

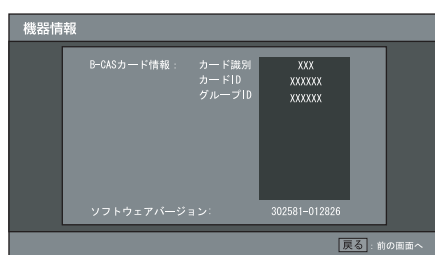
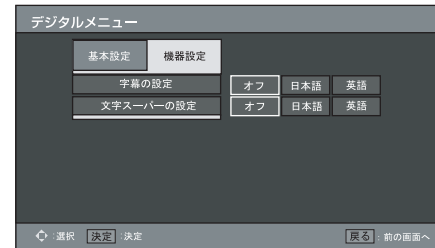
放送局からのお知らせが一覧表示されます。タイトルを選択し、(決定) で内容を確認できます。

・アンテナレベル

▲▼で受信チャンネルを選ぶと、チャンネルごとのアンテナレベルを確認できます。

・チャンネルスキャン

で地域を選び、(決定) でチャンネルをスキャンします。（15ページ参照）

・リモコンの詳細設定

リモコンの数字キーで放送局の情報を確認する。

・設定情報の初期化

「開始はい」を選んで 決定 を押すと購入後に「地上デジタル設定メニュー」内で行った各種設定が初期化され、工場出荷時に戻ります。

・機器情報

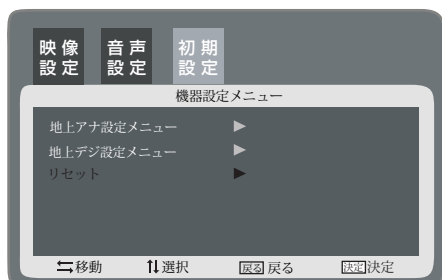
本機にセットされている B-CAS カードの番号を表示します。

◆ 機器設定

・字幕の設定

お好みに合わせて字幕を表示したり、消したりします。

・文字スーパーの設定

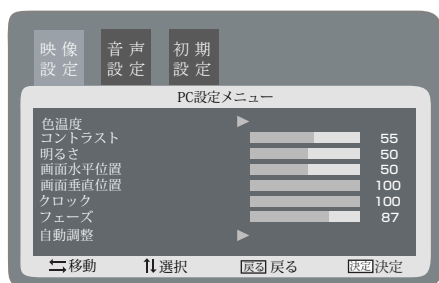
お好みに合わせて文字スーパーを表示したり、消したりします。

設定の初期化/PC設定メニュー

設定の初期化

本体の設定を初期状態（工場出荷時）に戻します。

◆ リセット

「初期設定（工場出荷）に戻す？」とメッセージが表示されます。「はい」を選んで 決定 を押すと購入後に行った各種設定が初期化され、工場出荷時に戻ります。

PC設定メニュー

入力モードが「PC」の場合のみ、映像設定メニューがPC設定メニューに変わり、PCの画質を調整できます。

お知らせ

入力モードが「地上デジタル」「地上アナログ」「D端子」「ビデオ」「HDMI」の場合は、「映像設定メニュー」が表示されます。（29ページ参照）

◆ 色温度

3種類の色温度（色合い）設定が用意されています。お好みや視聴する映像に合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **寒色系**
  青味を強調した色合いになります。
- **標準**
  標準的な色合いになります。
- **暖色系**
  赤味を強調した色合いになります。

◆ コントラスト

設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。

◆ 明るさ

設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。

◆ 画面水平位置

表示を水平方向に移動します。

◆ 画面垂直位置

表示を垂直方向に移動します。

◆ クロック

PC画面の縦横比を調整します。設定値が低いほど横幅が縮まり、設定値が高いほど横幅が広がります。

◆ フェーズ

「自動調整」を行っても画面の焦点が合わない場合、この値を調整してください。

◆ 自動調整

最適な表示になるよう、自動的に設定を調整します。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下記のとおりです。（まだ放送を開始していない放送局もあります）

2008 年 3 月

都道府県	チャンネルポジション	放送局
北海道（帯広）	3	NHK総合·帯広
	2	NHK教育·帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道（釧路）	3	NHK総合·釧路
	2	NHK教育·釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道（北見）	3	NHK総合·北見
	2	NHK教育·北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道（旭川）	3	NHK総合·旭川
	2	NHK教育·旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道（札幌）	3	NHK総合·札幌
	2	NHK教育·札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道（函館）	3	NHK総合·函館
	2	NHK教育·函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道（室蘭）	3	NHK総合·室蘭
	2	NHK教育·室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
青森	3	NHK総合·青森
	2	NHK教育·青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
岩手	1	NHK総合·盛岡
	2	NHK教育·盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
宮城	3	NHK総合·仙台
	2	NHK教育·仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合·秋田
	2	NHK教育·秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合·山形
	2	NHK教育·山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合·福島
	2	NHK教育·福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
茨城	1	NHK総合·水戸
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学

都道府県	チャンネルポジション	放送局
千葉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
東京	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	東京MXテレビ
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合·新潟
	2	NHK教育·新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
富山	3	NHK総合·富山
	2	NHK教育·富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
石川	1	NHK総合·金沢
	2	NHK教育·金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
福井	1	NHK総合·福井
	2	NHK教育·福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
山梨	1	NHK総合·甲府
	2	NHK教育·甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合·長野
	2	NHK教育·長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送

地域別チャンネル表

都道府県	チャンネルポジション	放送局
静岡	1	NHK総合･静岡
	2	NHK教育･静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
岐阜	3	NHK総合･岐阜
	2	NHK教育･名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
愛知	3	NHK総合･名古屋
	2	NHK教育･名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
三重	3	NHK総合･津
	2	NHK教育･名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK総合･大津
	2	NHK教育･大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	3	BBCびわ湖放送
京都	1	NHK総合･京都
	2	NHK教育･大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	5	KBS京都
大阪	1	NHK総合･大阪
	2	NHK教育･大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	7	テレビ大阪
兵庫	1	NHK総合･神戸
	2	NHK教育･大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	3	サンテレビ
奈良	1	NHK総合･奈良
	2	NHK教育･大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	9	奈良テレビ

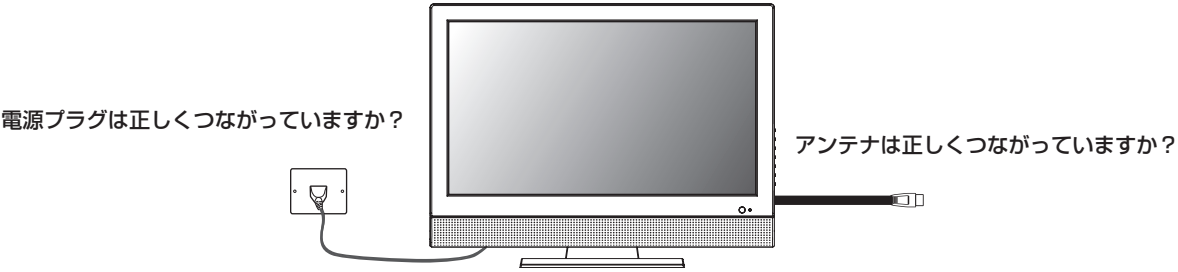
都道府県	チャンネルポジション	放送局
和歌山	1	NHK総合･和歌山
	2	NHK教育･大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	5	テレビ和歌山
鳥取	3	NHK総合･鳥取
	2	NHK教育･鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
島根	3	NHK総合･松江
	2	NHK教育･松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
岡山	1	NHK総合･岡山
	2	NHK教育･岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KBS瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
広島	1	NHK総合･広島
	2	NHK教育･広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
山口	1	NHK総合･山口
	2	NHK教育･山口
	4	KRY山口放送
	3	TYSテレビ山口
	5	YAB山口朝日
徳島	3	NHK総合･徳島
	2	NHK教育･徳島
	1	四国放送
香川	1	NHK総合･高松
	2	NHK教育･高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合･松山
	2	NHK教育･松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
高知	1	NHK総合･高知
	2	NHK教育･高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合･福岡
	3	NHK総合･北九州
	2	NHK教育･福岡
	2	NHK教育･北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本

都道府県	チャンネルポジション	放送局
佐賀	1	NHK総合･佐賀
	2	NHK教育･佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合･長崎
	2	NHK教育･長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
	4	NIB長崎国際テレビ
熊本	1	NHK総合･熊本
	2	NHK教育･熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
大分	1	NHK総合･大分
	2	NHK教育･大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合･宮崎
	2	NHK教育･宮崎
	6	MRT宮崎放送
	3	UMKテレビ宮崎
鹿児島	3	NHK総合･鹿児島
	2	NHK教育･鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島読売TV
沖縄	1	NHK総合･那覇
	2	NHK教育･那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
  液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」いうきしみ音がする
  部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
  本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	• リモコンを受光部に向けていますか？ • お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。 • 乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してみてください。 • 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	• スリープタイマーを設定していませんか？ →スリープタイマーの設定を確認してください。

故障かな？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映像が出ない AV 映像が出ない	• アンテナは正しくつながっていますか？ →アンテナの接続を確認してください。 • 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。 • 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。 • 電源スイッチは入っていますか？ →電源スイッチを入れてください。 • テレビモード以外の入力モードになっていませんか？ →テレビモードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナが壊れたり、アンテナ線が切断されたりしていませんか？ →アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
映像が二重､三重になる（ゴースト）	• 山やビルなどからの反射電波が考えられます。 →アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 • アンテナの方向がズレていませんか？
色じま模様が出る	• 近くのテレビからの妨害電波を受けている可能性があります。 →アンテナの向きや高さを変えてみてください。 • 他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？ また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 →妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。
画像にはん点が出る	• 自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていることがあります。 →アンテナをなるべく道路、線路、ネオンなどから離すようにしてみてください。
映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる 映像が静止したり、または時々静止する	• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整してください。 • アンテナ線の劣化が考えられます。 • 着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ • 電波状態が悪いことが考えられます。

症状	原因や対処のしかた
色合いが悪い、色が薄い	• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。
映像が不鮮明 映像がゆれる	• テレビの電波が弱い場合が考えられます。 • 電波状態が悪い場合も考えられます。 • アンテナの方向がズレていませんか？ • 屋外アンテナのアンテナ線が外れていませんか？
接続した機器の映像がでない	• 外部機器は正しくつながっていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。 • 入力切換は合っていますか？ →リモコンまたは本体の入力切換ボタンで、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因や対処のしかた
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？ •「消音」状態になっていませんか？ • イヤホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	• B-CAS カードは正しく挿入されていますか？ • 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？ • お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか？ →地上デジタル放送が行われているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。
引越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	•「機器設定」の「チャンネル設定（自動）」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

エラーメッセージ一覧

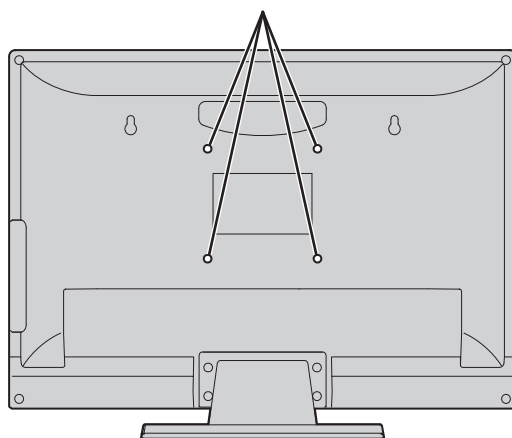
代表的なエラーメッセージ表示について説明します。

デジタル放送

メッセージ	対処のしかた
このチャンネルはご覧になれません	• 放送されていないチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
信号が受信できません	• 雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われているかも確認してください。
現在放送されていません	• 放送を休止しているチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
チャンネルが設定されていません	• 存在しないチャンネル番号を入力したときに表示されます。正しい 3 桁番号を入力してください。
この B-CAS カードは使用できません	• B-CAS カードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。付属の B-CAS カードを正しく入れてください。
B-CAS カードが正しく挿入されていません	• B-CAS カードを入れる向きが間違っています。正しい向きで挿入してください。
この B-CAS カードは交換が必要です。 B-CAS カードが故障しています。	• B-CAS カードが故障しています。
この IC カードはご使用になれません。	• 無効な IC カードが挿入されています。B-CAS カードを挿入してください。
放送チャンネルではないためご覧になれません	• 放送チャンネルを選択しなおしてください。
未読メールがあります	• ソフトウェアのアップデートなどの情報メールが到着しています。メールを確認してください。
ソフトウェアのダウンロード中です。	• ソフトウェアをダウンロードしています。そのままお待ちください。

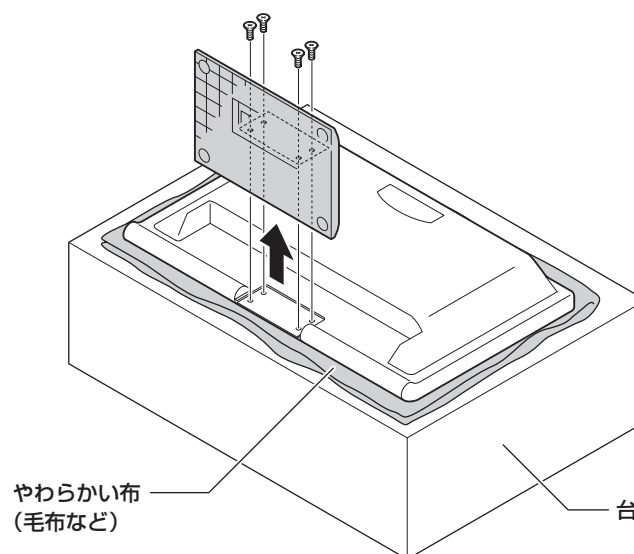
壁掛けでご使用になるとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- **テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。**
- **専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。**

スタンドのはずしかた

本機を壁掛けでご使用になるときは、スタンドをはずしてください。

1 **テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **スタンド部分のネジ（4 箇所）を取りはずし、スタンドを手前に引いてはずす**

ご注意

- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

主な仕様

◆ テレビ

項目		仕様
型名		LCU1850B
種類		地上デジタルハイビジョン液晶テレビ
液晶パネル	画面サイズ	横 409.8mm × 縦 230.4mm
	アスペクト比	16:9
	画素数	1366(水平) × 768(垂直)
	輝度	300cd/ ㎡
	視野角	上下 160° / 左右 170°
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	5ms
電源		AC100V (50/60Hz)
消費電力		23W
待機時消費電力		0.5W
年間消費電力量		44 KWh/ 年
スピーカー		ボトムスピーカー 2 個
音声出力		総合 4W (2W + 2W)
受信チャンネル		地上アナログ :VHF(1 ～ 12ch)・(UHF13 ～ 62ch)・(CATV C13 ～ C63ch) 地上デジタル :UHF(13 ～ 62ch)・CATV パススルー (VHF,UHF) 対応
入力・出力端子	アンテナ入力	地上デジタル・地上アナログ
	ビデオ入力	映像 :RCA ピンジャック
	D端子入力	14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ 対応入力解像度 :480i/p,720p,1080i, 1080P
	HDMI 入力	HDMI Ver.1.3 標準規格 対応入力解像度 :480i/p,720p,1080i,1080P
	PC 入力	D-sub15 ピン、RGB 信号、音声 :3.5mm ステレオミニジャック 対応入力解像度： 800 × 600@60Hz, 1024 × 768@60Hz, 1360 × 768@60Hz, 1280 × 720@60Hz,
	ヘッドホン端子出力	ヘッドホン端子 3.5mm ステレオミニジャック
使用条件		周辺温度 :0℃～ 35℃、周辺湿度 :20% ～ 80%(結露のないこと)
外形寸法		幅 460mm × 高さ 350mm × 奥行き 71mm
スタンド角度調整範囲		上約 10° / 下約 5°
質量 (スタンドを含む)		4.5Kg
付属品		リモコン1個、単4形乾電池2個、B-CASカード1枚、B-CASカバー1個 、 取扱説明書1部、簡単接続ガイド 1 部、保証書 1 部

お知らせ

- 本商品はデータ放送に対応しておりません。

主な仕様

◆ リモコン

電源	DC 3V（単４形乾電池× 2）
質量	83 g（乾電池を含まない）
リモコン操作距離	約 7 m（ただし直進）

＊ 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型再サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで外国では使用できません。

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。

◆ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

[保証期間中の場合]

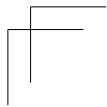
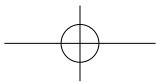
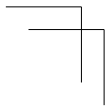
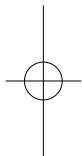
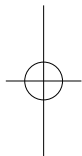
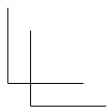
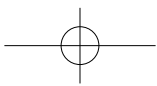
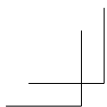
保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。ユニテクサービスセンターにご連絡ください。

[保証期間を過ぎている場合]

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはユニテクサービスセンターまでお願いいたします。

◆ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です。）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

株式会社 ユニテク

サービスセンター

電　話　(03) 5387-1342
営業時間　9:00 ～ 12:00
　　　　　13:00 ～ 17:00
土日、祝日および年末年始は、お休みとなります